

巻頭言

新たな時代「令和」を迎えて

鉄建設株式会社 代表取締役会長

林 康雄



平成が終わり、新たに「令和」の時代が幕を開きました。

「令和」の発表に当たり、安倍総理より日本最古の歌集『万葉集』の中で「厳しい寒さのあと、春の訪れを告げるように、見事に咲き誇る美しい梅の花の情景」を歌った歌から「令和」を元号に選定し、「次の時代を担う若者たちが、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そのような、若者たちにとって希望に満ち溢れた日本を国民の皆様とともに作り上げていきたい」との思いが語られました。

この思いは「令和」の目指す道筋であり、「平成」の戦争のない平和な時代を受け継ぐとともに、甚大な被害をもたらした自然災害に負けず、安全で安心な、より質の高い豊かな生活を享受し、様々な人材が希望をもって多様な経済活動、社会形成に参画・活躍できる時代を築いていくことが期待されています。

これを支える基礎的条件として、我が国食料の安定供給、農業・農村の持続的発展は重要な柱であり、この条件整備を進める土地改良事業の役割は一層重要になっています。土地改良建設協会発刊の「土地改良」四月号の平成を振り返る特集でも多くの方が語られていますように、T P P等の農業の国際化の進展、かつてない人口減少、急激な少子化・高齢化社会と大きな変革期を迎える中、「豊かで競争力ある農業」、「美しく活力ある農村」、「強くてしなやかな農業・農村」の実現を目標とし、儲かる農業への競争力強化、多面的機能を活かした農村地域の活性化、多発、激甚化する地震や降雨災害に対する国土強靱化、そして、これらの「担い手」の受け皿となる農業生産、農村生活の基盤整備の推進が必要となっています。

こうした中、令和元年の国の土地改良関係予算は、農業農村の基盤整備の遅れを取り戻し、推進すべく、令和元年初予算、平成

三十年度補正予算を合わせて平成二十二年度の大幅削減前の予算以上に回復し、更に「臨時・特別の措置」として国土強靱化の加速化のために三年の特別予算も計上されることになりました。

また、老朽ため池の決壊による水害防止を目的として、防災重点ため池の再選定、避難行動対策、適切な維持・補強対策の強化のため、今年四月、新たに「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が公布されました。

一方、建設産業においても農業と同じく「担い手確保」が最重要課題であり、「働き方改革」や「技術の継承」、「生産性の向上」を着実に進めるため、労働環境の根本的な改善が喫緊の課題となっています。

我が社も創立七五周年を迎え、培ってきた「信用と技術」の下、会社が一丸となって、お客様に喜ばれる安全で良質な社会資本を提供すべく、安全の飛躍的なレベルアップ、女性、外国人、若手等と幅広い人材が参画し、一層の躍進を図るダイバーシティの推進、環境整備や人材育成、技術開発・継承等に取組むとともに、バイオマスや農業分野参入等と多様な分野にもチャレンジしてまいります。

あらためて、「令和」が我が国の農業農村の大きな飛躍の時代の幕開けとなるよう、これを支える土地改良事業が着実かつ的確に推進され、効果が発揮されることが肝要です。このため、同協会をはじめ、土地改良事業に関わる皆様の力を結集し、「農業競争力強化」、「農村地域活性化」、「国土強靱化」、そして「働き方改革」等の様々な課題に果敢に取り組み、皆様とともに解決に向けて取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、会員の皆様方により一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。